



2014 年 4 月 7 日

GE ヘルスケア・ジャパン

CT に求められる三大要素をすべて網羅した「**Revolution CT**」^{レボリューション シーティー}発売

—高分解能・高速化・カバレッジを同時に満たす最上位機種により、
2025 年型医療モデルで高度急性期を目指す医療機関のニーズに対応—

医療課題の解決に取り組むヘルスケアカンパニー、GE ヘルスケア・ジャパン株式会社（本社：東京都日野市、代表取締役社長兼 CEO：川上潤）は、4 月 11 日（金）、「高分解能（画質）」「高速化（スピード）」「カバレッジ（撮影範囲）」という CT（コンピューター断層撮影装置）に求められる三大機能を最高レベルで追求した最上位機種「**Revolution CT**（レボリューションシーティー）」を発売します。従来実現が困難であった三要素をすべて兼ね備えた本製品の発売によって、GE ヘルスケア・ジャパンは 2014 年を Year of Revolution と位置づけ、市場のリーダーとしてのさらなる地位強化を目指します。また、超高齢社会における医療体制として政府が提唱する 2025 年モデルにおいて、高度急性期病院を目指す医療機関の差別化にも貢献します。

■全ての人にやさしく安心な医療の実現のために必須と言われている「三大要素」

～そのすべてを高レベルで満たす技術開発～

多列化（高速撮影）の技術に主眼が置かれていた CT の機種開発は、2008 年頃からは様々な臨床現場のニーズにあわせて「高分解能（画質）」「高速化（スピード）」「カバレッジ（撮影範囲）」のいずれかの要素に特化して進められるようになってきました。これらは臨床現場において CT に求められる三大要素であるものの、技術的に、いずれか一つの機能を追求すると他の要素に制限が生じることが一般的でした。

この度発売する「**Revolution CT**」は、このような従来の CT 開発の課題を解決すべく、ハードウェアからソフトウェア、アルゴリズムに至るまで、すべてを新たに開発することで、三大要素を妥協なく融合させることに成功した画期的な製品です。**Revolution CT** の心臓部である 3D コリメータは、日野本社技術チームが開発、唯一日野工場にて生産され、世界中に向けて出荷されています。CT 技術の根幹を支える 3D コリメータは、3 大要素の融合時に発生する課題を解決する重要なコンポーネントであり、常に高い画像性能を提供します。また、常に高い画像性能を提供するため、散乱線を効率よく除去できるコリメータをはじめ、被験者の被ばく量をこれまで同様に低く抑える機能も搭載し、患者さんにやさしい CT 撮影を可能としました。

■「**Revolution CT**」の登場による患者さん・医療機関双方のメリット

「高分解能（画質）」「高速化（スピード）」「カバレッジ（撮影範囲）」を網羅し、全体機能の向上を実現した「**Revolution CT**」により、これまで臨床現場で有していた CT 撮影における様々な課題の解決に貢献します。たとえば、動きが早く意図的に止めることのできない心臓も瞬時に撮影ができるため、心拍数を抑える薬剤（βブロッカー）が不要になることが期待されます。また、じっとしていられない小児患者の撮影において一般的に使用される鎮静剤も、本製品の導入により大幅な削減が期待されます。

さらに、診療科によって異なる CT へのさまざまなニーズのある医療機関にとっても、「**Revolution CT**」1 台でそれらに対応することができるというメリットがあります。



製 品 名: Revolution CT
(販売名称: 全身用X線CT診断装置
マルチスライスCTスキャナ Revolution)
発 売 日: 2014年4月11日
初年 国内販売目標: 30台
医療機器認証番号: 226ACBZX00011000

■市場動向・販売戦略

国内のCTの上位機種市場は、年間 100 台前後、全体の 20%を占めます。この度発売する「Revolution CT」は、これまでの上位機種のすべての機能を備えた最上位機種となり、従来にない新たな市場向けの製品です。高度急性期病院を目指す大学病院や国立研究施設、大型民間病院など、医療の 2025 年モデルに向けて、最新鋭の画像診断装置の導入で差別化を図りたい医療機関を主軸に積極的に販売していきます。

■医療体制の「2025 年モデル」について

2025 年問題とは、厚生労働大臣の諮問機関である中央社会保障医療審議会によって 2011 年 10 月に医療・介護機能再編の方向性イメージとして提示されたモデルです。2025 年には、高齢者人口が 30%を超えるのみならず、団塊世代が 75 歳以上となり、その数が 2000 万人を超えるという時代が到来します。これを踏まえ、政府は、2025 年までに整えるべき医療・介護機能再編を定めた「2025 年モデル」を示しました。入院医療では「高度急性期」「急性期」「亜急性期」「回復期」「長期療養」さらに在宅医療や介護施設などの「かかりつけ医・在宅医療」など患者の状況とニーズに合わせた機能分化を図ろうとするものです。GE ヘルスケア・ジャパンでは、「Silver to Gold = 超高齢社会における医療の在り方を変える」をテーマに、医療の機能分化により求められる新たなニーズに沿ったソリューションを構築し、提供して参ります。

■GE ヘルスケア・ジャパンについて

GE ヘルスケア・ジャパン株式会社は、世界が直面する困難な課題解決に取り組む GE ヘルスケアの中核拠点の 1 つとして、1982 年に設立されました。国内に開発、製造から販売、サービス部門までを持ち、日本のお客様のニーズにお応えする、先端的な医療技術ならびに医療・研究機関向けの各種サービスをお届けしています。CT や MRI、超音波診断装置などの医療用画像診断から、体内診断薬、細胞解析装置などのライフサイエンス(生命科学)まで幅広い分野にわたる専門性を駆使しながら、GE の世界戦略「ヘルシーマジェネーション」で掲げる「医療コストの削減」「医療アクセスの拡大」「医療の質の向上」の実現を目指します。2013 年 4 月 1 日現在の社員数は 2,100 名、国内に本社および 54 カ所の事業拠点。ホームページアドレスは www.gehealthcare.co.jp (ライフサイエンス統括本部: www.gelifesciences.co.jp)。

<お問い合わせ先>

GE ヘルスケア・ジャパン(株) コミュニケーション本部 プランチャード/松井
Tel: 0120-202-021